

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 てらびあぼけっと清澄白河教室

保護者等数(児童数) 50

回収数 40

割合 80

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39件	1件	件	件	・大部屋は広くて安全。	部屋は広くて動きのある活動もできるが、安全面には留意して運営していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	37件	1件	件	2件	・指導員の人数も多く安心している。 ・職員数が多く手厚く対応してくれてありがたい	職員の専門性を生かして支援をしていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	36件	4件	件	件	・大部屋と小部屋に分かれているところが分かりやすい環境になっていると思う。	ご利用者の年齢に応じたり、また個別や集団活動などの取り組みに併せて部屋を選択して支援を行っていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	40件	件	件	件	・集団活動は大部屋、個別活動は小部屋で集中出来る空間になっているのがいい。 ・玄関は広く靴の着脱しやすいスペースが確保されていて、室内は明るく広さも充分だと思ふ。	常に環境面を整え、清潔で心地よい空間でありつづける。 ・またご利用様の様態は色々な場面の状況に応じて空間を整えていきます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	40件	件	件	件		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	37件	1件	件	2件		・ガイドラインを理解しつつ計画に反映してまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	38件	1件	件	1件	・半年後に利用者様のニーズに合わせて更新されている。 ・その時の段階に応じた療育を行っている。 ・支援計画に家族の要望も取り入れてくれる。	・今後もご利用者に合わせて適切なニーズを理解し計画を作成してまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	39件	1件	件	1件	・毎回変化をつけて教材を提供し療育に取り組んでくれる。 ・おもちゃ等手作りでも完成度の高い新しい教材を導入するなど工夫が見られる。	・前回の内容の情報共有はしつつ、ご利用者の興味があるものは継続したり、別の課題を用意するなど変化をつけていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16件	4件	9件	11件	・まだ取り組みはないものの保育園との交流を提案してくれた。 ・通園先の訪問を積極的に行ってくれる。	通園先と積極的に交流をはかり、特性のある子どもの支援方法など情報共有していきます。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	40件	件	件	件		・今後も分かりやすい説明を心掛けます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	36件	2件	1件	1件		・今後も分かりやすい説明を心掛けます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15件	9件	4件	12件	・ペアトレの実施状況はわからないが、相談や要望に応じてくれる。 ・家庭内でできるトレーニングを教えてください。	・ペアトレの開催は出来るだけ要望に合わせて対応をしていきます。 ・家庭でできることはご利用者に負担にならない程度にお願いしていくことを検討します。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	40件	件	件	件	・ご家庭や通園先と積極的に連携しているのでそれぞれの場面においての状況を共有することができている。 ・いつも話を聞いてくれて助かっている。 ・毎回のFBで、その日の様子など丁寧に説明してくれる。	・ご家庭、通園先、また併用先と連携しそれぞれの様子を共有し共通理解をはかってまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38件	2件	件	件	・FB時に相談に乗ってくれて、保護者の支援もしてくれて助かっている。 ・面談に加えてFBの際にちょっとした困りごとや悩みをその都度聞いてくれて助かる。	・いつでも相談や面談など行き、可能な限り助言支援を行っていきます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5件	6件	19件	10件	・父母の会など開催で、作業等が発生すると保護者の負担になる可能性もあると思う。 ・保護者会など開催する予定があるのか不明。	・開催については保護者様のご要望に合わせて対応していきます。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	38件	1件	件	1件	・いつも相談があると場を設けてくれてすぐに対応してくれて感謝している。	・いつでも相談にのるようにし、面談などとともに、可能な限り助言支援を行っています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	39件	1件	件	件		・ご利用者様や保護者様への伝え方には十分注意をしていき、言葉を選ぶことや段階を踏んで説明をしていくなど慎重に取り組みを行い、状況によってはしっかりとお伝えさせていただきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	23件	4件	2件	11件	・LINEなどで空き状況など連絡してくれて助か	・教室の空き状況を行うことやブログで教室での風景を周知していき、興味をもっていただけるような情報発信に取り組んでいきます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	34件	3件	件	3件		・個人情報の取扱いについては十分に注意をしています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20件	2件	1件	17件		・今後も丁寧な説明を心掛け、有事の際などに落ち着いて対処できるように職員間にて研修を実施したり、対策として訓練を実施していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11件	2件	1件	26件		・避難訓練を定期的に実施し、様々な災害発生に備えています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	38件	件	件	2件	・まだ利用開始して間もないためわからない。 ・何時も通所を楽しみしていて、出かける際に自分で出かける準備を積極的に行う。	・ご利用者様にとって楽しく安心してすごせる空間であり続けられるように日々職員と連携し、良いサービスを提供していく。
	23	事業所の支援に満足しているか	40件	件	件	件	・保護者の体調を気遣ってくれて長時間預かってくれる所は他にないのでとても助かっている。	・てらびあを利用してよかったと思えてもらえるようにこれからも励んでいきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 てらびあぼけつと清澄白河教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6件	件	・集団療育(2名以上参加型)を取り組んでいく	・今後も利用者様のニーズに合わせたサービス提供を行っていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	6件	件		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6件	件		・今後もご利用者様が快適に過ごせるような環境を整備していく。 ・また安全面には十分に留意し事故防止につとめていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6件	件		・壁など角ばっている個所のクッションの粘着が弱くなっている箇所があるので安全のため固定をする。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6件	件	・アセスメント→計画作成→モニタリングなどの順序を周知している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6件	件		・今回初回公開につき、公表後職員間で共有していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6件	件		・今回初回公開につき、公表後職員間で共有していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	件	6件		・第3者における外部評価は行っていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4件	2件		日々の業務に追われ、研修をほとんど実施していないので、空き時間などを有効利用し出来る範囲で行う。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6件	件		・初期情報などをカンファレンスなどで共有して職員間でニーズや課題を分析していく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5件	1件	てらびあのカリキュラムアセスメントを確認しながら取り組みを行う。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6件	件		・ガイドラインの読み合わせを定期的に行う。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6件	件		・児発管の作成した計画だけでなく、指導員からの情報も重視していき支援につなげる。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	4件	2件	・情報を共有している。	・指導員からの情報を重視すると保護者からの要望を取り入れて立案を行う。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6件	件	・個々の専門性を生かしている。	・ご利用様の日々の様子を見ながら、固定化しないようサービス提供を行う。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6件	件		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6件	件		朝礼等で支援の打ち合わせなどを行わない必要事項などを共有している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6件	件		毎回終礼にて情報共有を行う。ただそれだけでは不十分なので時間を見つけてカンファレンスも実施していく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6件	件		サービス提供終了後記録をとっている。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6件	件		6ヶ月に1回にモニタリングを行っているが、利用者様の成長に合わせてニーズの見直しも行う。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6件	件		児発管もしくは療育担当者が参加をしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6件	件		各年齢に合わせた支援を行うために、母子保健センター、家庭支援センターなどで育児や発育に悩んでいる方に周知を行う。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	件	6件		該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	件	6件		該当なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件	件		年長利用者には、特に移行支援を行い情報共有をしていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	件	件		年長利用者には、特に移行支援を行い情報共有をしていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	件	件	他機関の情報聴取している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6件	件		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	件	6件		今後積極的に行う。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6件	件	・認識のずれが起こる可能性もあるため、コミュニケーションをとりずれが起こらないようにしていく。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	件	6件	実施していない。	保護者様のご要望があり次第、柔軟に対応を検討。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6件	件	・管理者及び担当者が実施している	利用者、ご家族に分かりやすい説明を心掛ける
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6件	件		ガイドラインを読み合わせて理解を深め、計画の説明の際に説明をしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6件	件	・療育担当指導員がFBで聞きとりを行なうことや児発管が別日で面談を設定し早めに対応することを心掛けている。	今後も相談を受けた際に、早急な対応を心掛ける。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	件	6件	実施していない。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6件	件	早急に連絡をとり、面談などを設定している。	・今後も早急で丁寧な対応を心掛ける。
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6件	件	ブログで教室の活動風景を紹介している。	今後も継続して行い、どのような活動をしているのかわかりやすく周知される内容を心掛ける。	
38	個人情報の取扱いに十分注意している	6件	件	書庫棚は使用後施錠している。		
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6件	件			
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	件	6件	実施していない。		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6件	件	マニュアルを作成し職員間で共有している。避難訓練などを定期的実施している。	保護者にも様々なマニュアルがあることを周知させる。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6件	件	10月中旬に教室で、利用者参加の避難訓練を実施した。	今後も様々な災害対策のために避難訓練を行なう。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6件	件	情報共有をしている。	てんかん発作等発生した際の対処法を職員に周知しスムーズに対応できるように準備をしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6件	件	食物を取り扱っていないが、事前の聞き取りにてアレルギーの有無を確認している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6件	件		日々の業務に終われ、作成する頻度が少ないが教室内の安全のため作成を怠らなく行う。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件	件	職員間で虐待防止のための日々のストレスチェックなどを行ない事前に職員の状況を確認している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件	件	・契約時に簡潔かつ丁寧に説明している。	・職員間において、どのような状況下で実施をしたほうがよいのかを丁寧に説明していく。